



議長 佐藤久義 77歳

**均衡ある発展を遂げるまち
“栗原”を目指して**

令和元年6月11日の定例
議会において、栗原市議会
第9代議長に就任いたしま
した。大変光栄であります
とともに、その責任の大き
さに身の引き締まる思いで
あります。

地方自治は、議会と執行部が互いに切磋琢磨し、生活環境の改善と市民福祉向上のためにある二元代表制でありますことから、栗原市議会におきましても、市長と議論を重ね、市民が要望する諸問題に耳を傾け、市民のための政策を求めることが栗原市の発展に繋が

本市においては合併して14年になりますが、県内二広い行政区画の中、市民がいつでも、どこでも快適に暮らすことのできるよう地域間格差のない均衡の取れたまちづくりを進めていくことが、「暮らしたい栗原」にするための多くの市民の願いと認識し、その負託に応えるよう先頭に立つて頑張ってまいります。

るものと信じて、議会のさらなる改革と活性化に努め公正、公平を心がけて議会運営に取り組む所存であります。

委員会

構成メンバーを変更

常任委員会、議会運営委員会、議会報告会運営調査特別委員会など2年の任期が終了したため、委員構成を変更しました。

議会運営委員会

文教民生 常任委員會 委員長 三浦善浩 副委員長 佐藤庄喜 委員 佐々木嘉郎 委員 佐藤澤幸 委員 高橋勝男 委員 高橋義雄 委員 岩倉猛東 委員 岩倉三塚 委員 岩倉嘉郎 委員 岩倉佐々木

産業建設
常任委員会

議會報告會運管
調查特別委員會

廣報編集調查
特別委員會

議長に
佐藤久義
氏を選出

副議長には阿部貞光氏



副議長
あべ さだ みつ
阿 部 貞 光 60歳)

この度、多くの議員のご支援を頂き、副議長の重責を務めさせていたぐく事になりました。しっかりと議長を補佐し、市民生活の安定と市政発展のため、二元代表制の一翼を担う議会のさらなる活性化に、全力で取り組んでまいります。

栗原市は、市民協働のまちづくりに視点を置き、自治会活動の充実や大規模な自然災害から市民を守る一環として、自主防災組織の設立、支援にいち早く取り組んでまいります。

しかし、少子高齢化が進み人口減少に歯止めがかかる状況下では、支える方の育成が重要であります。市民が夢と希望を持ち、安心して暮らせるまちづくり、地域社会を創造していくためにも、広く市民の声を聞き政策立案に活かし、皆さんから信頼、期待される開かれた議会運営に努めてまいります。

市政発展 開かれた議会運営に努める

組み、支えあう地域づくりを進めてきました。

一部会派の構成員の変更、また「新政ぐりはら」の解散に伴い、会派は6会派から5会派となりました。

各会派の代表者は写真のとおりです。

5会派

構成員や会派数が変更

新清流

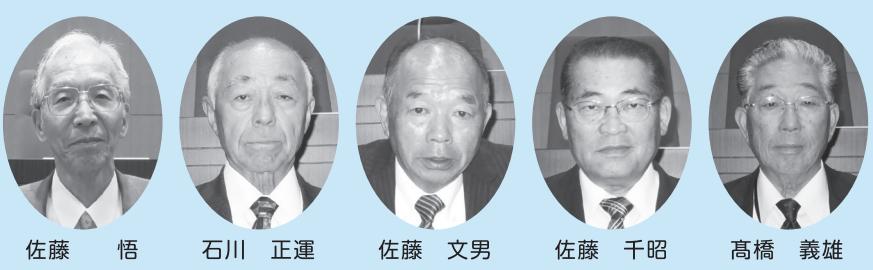
代表者	高橋 義雄
副代表	相馬 勝義
幹事長	佐藤 遷
経理責任者	阿部 幸浩
副幹事長	澤邊 将
経理補佐	高橋 幸浩

市民ぐりはら

代表者	佐藤 千昭
副代表	佐藤 庄喜
幹事長	佐藤 潤沼
副幹事長	佐藤 一孝
経理責任者	佐藤 千昭

日本共産党栗原市議団

代表者	小野 久一
副代表	菅原 勇喜
幹事長	文男 猛
経理責任者	



政策フォーラム

代表者	石川 正運
副代表兼経理責任者	三塚 東
幹事長	佐々木嘉郎

社民党栗原市議団

代表者	高橋 勝男
幹事長兼経理責任者	佐藤 悟

会派に属しない議員

鹿野 芳幸	高橋 勝男
五十嵐 勇	佐藤 悟
三浦 善浩	
佐藤 久義	

ひとつめメモ

会派とは

会派は、市政への考え方や意見を同じくする市議会議員で結成された政策グループです。

2人以上で結成した場合議長へ届け出る必要があります。



政務活動費とは

政務活動費は、地方自治法第100条第14項・第15項・第16項・および栗原市議会政務活動費の交付に関する条例の規定に基づき調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、申請に基づき、会派（会派に所属しない場合は議員）に交付されるものです。

栗原市では、議員1人あたり月額2万5000円を交付しています。